

2022 年度一橋大学法科大学院入学者選抜試験

# 小論文

## 解答上の注意

1. 問題文は 8 頁、解答用紙は 1 枚（表・裏）、下書用紙は 1 枚です。
2. 解答用紙に、一橋大学の受験番号を記入してください。氏名は絶対に記入しないでください。
3. 解答は横書きにしてください。
4. 解答用紙は、受験番号を記入する面が表になります。問 1 を表に、問 2 を裏に解答してください。解答用紙は、白紙である場合も含め、提出してください。
5. 解答用紙の追加、交換はしません。
6. 解答用紙の余白は採点者が使用するので、誤字脱字の訂正のほかは使わないでください。
7. 問題の内容についての質問には、応じません。
8. 試験終了後、問題文と下書用紙は、持ち帰ってください。

## 問題

〔問題文〕を読んで、問1、問2に答えなさい。

問1 下線部(A)「陰謀論的発想が、マスメディアに登場する専門家をめぐる『証人』選びの便利なツールになっている」とはどういうことか、説明しなさい。(句読点も1字と数え、800字以内とする。)

問2 下線部(B)「『フェイク』の不安がある限り、私たちはこの構造と付き合い続けざるを得ない」とはどういうことかを説明したうえで、今日の社会における「フェイク」の例を本文中に挙げられたもの以外に一つ挙げ、その「フェイク」の不安に社会としてどのように対処すべきか、自身の考えを述べなさい。(句読点も1字と数え、1000字以内とする。)

〔問題文〕

(この問題は著作権の関係により、文章の出典と引用箇所のみを表示します。)

【〔問題文〕は松村一志「科学否定論とフェイクの不安——リスク社会の科学とメディア」〔現代思想49巻6号(2021年)〕からの抜粋である(181頁～191頁)。原文の一部を省略し、表記を変更した箇所がある。】